

## 「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」結果のポイント

内閣府が令和2年6月に発表した、「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」結果の概要を紹介します。感染症影響下において「家族の重要性をより意識するようになった人」が49.9%。就業者の34.6%がテレワークを経験。子育て世帯の70.3%で「家族と過ごす時間が増加」となっています。

### 1. 調査概要

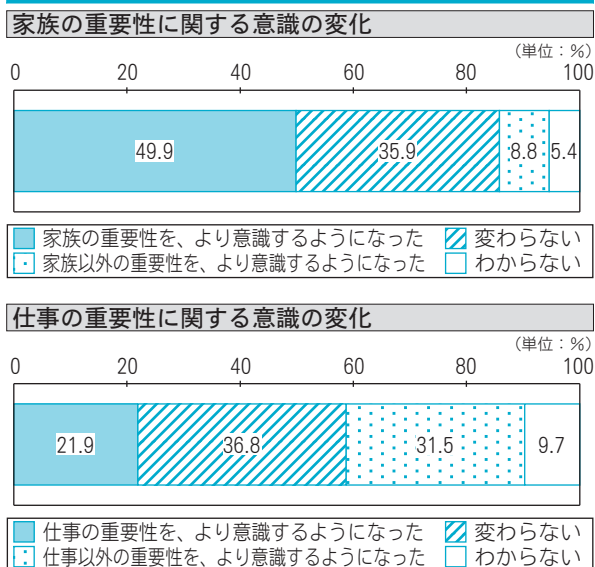
|                   |  |
|-------------------|--|
| 調査方法              | インターネット調査<br>(国内居住のインターネットパネル登録モニター)   |
| 回収数               | 10,128   |
| 調査期間              | 5月25日～6月5日   |
| 回収数の内訳<br>(主な属性別) | 【就業者】6,685人 【子育て世帯】2,168人<br>【学生】1,035人 【シニア60歳以上】2,532人   |
| 回収数の内訳<br>(地域別)   | 【北海道・東北】1,152 【東京】1,104<br>【首都圏(東京以外)】2,400 【中部】1,776<br>【近畿】1,632 【中国・四国】912<br>【九州・沖縄】1,152 【合計】10,128 |

### 2. 生活意識の変化

#### (1) 重要性を意識するようになったこと

「今回の感染症拡大前に比べて、家族の重要性に関する意識はどのように変化したか」については、「家族の重要性を、より意識するようになった」が49.9%となっている。「仕事の重要性に関する意識はどのように変化したか」については、「仕事以外の重要性を、より意識するようになった」が31.5%となっている(図表1)。

図表1：家族・仕事の重要性に関する意識の変化

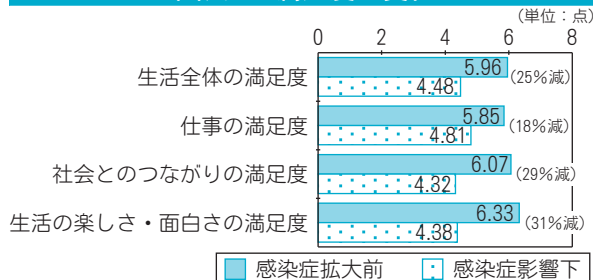


出典：「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」を参考に当研究所で作成。(以下同じ)

#### (2) 満足度の変化

『全く満足していない』を0点、『非常に満足している』を10点とすると、①新型コロナウイルス感染症の拡大前、②感染症の影響下、それぞれ何点ぐらいになるかについては、感染拡大前に比べて「生活の楽しさ・面白さの満足度」が31%低下、「生活全体の満足度」も25%低下している(図表2)。

図表2：満足度の変化



### 3. 生活行動の変化

#### (1) 就業者のテレワーク実施状況

「今回の感染症影響下において、経験した働き方すべてを回答」については、就業者の34.6%がテレワークを経験している(図表3)。

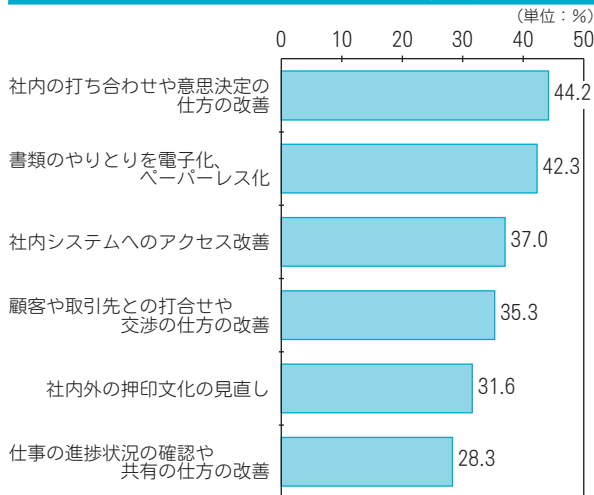
図表3：就業者のテレワーク実施状況

| 経験した働き方               | 回答者割合 |
|-----------------------|-------|
| テレワーク (ほぼ100%)        | 10.5% |
| テレワーク中心 (50%以上)       | 11.0% |
| 定期的にテレワーク (出勤中心50%以上) | 6.9%  |
| 基本的に出勤 (不定期にテレワーク)    | 6.1%  |
| 週4日、週3日などの勤務日制限       | 11.2% |
| 時差勤務やフレックスタイムによる勤務    | 9.3%  |
| 特別休暇取得などによる勤務時間縮減     | 12.6% |
| その他                   | 3.5%  |
| いずれも実施していない           | 41.0% |

## (2) テレワーク利用に必要な課題

「今後、あなたの職場において、テレワークの利用拡大が進むために必要と思うものに関し、重要なものから順に回答（最大3つ）」については、「社内の打ち合わせや意思決定の仕方の改善」が44.2%で最も多く、続いて「書類のやりとりを電子化、ペーパーレス化」42.3%となっている（図表4）。

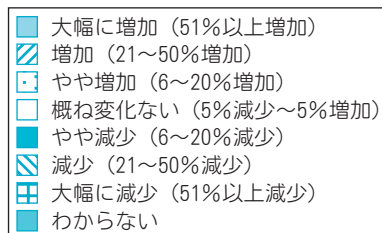
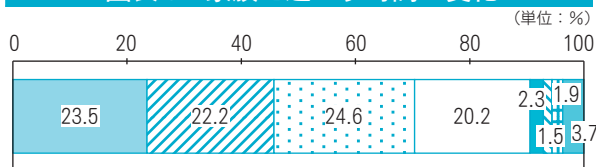
図表4：テレワーク利用拡大が進むための課題（上位6項目）



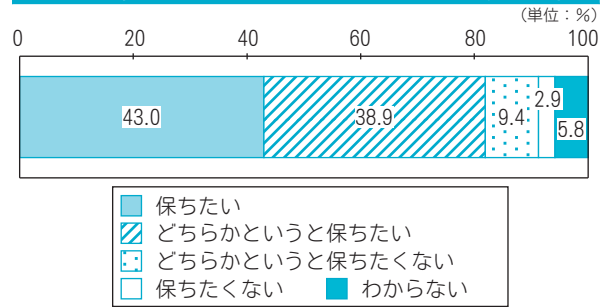
## (3) 子育て世帯の家族と過ごす時間

「今回の感染症の影響下において、家族と過ごす時間はどのように変化したか」については、家族との時間が増加（大幅に増加+増加+やや増加）したのは70.3%となっている（図表5）。また、家族と過ごす時間が増加したと回答した人に「現在の家族と過ごす時間を今後も保ちたいと思うか」については、「保ちたい・どちらかという保ちたい」が81.9%となっている（図表6）。

図表5：家族と過ごす時間の変化



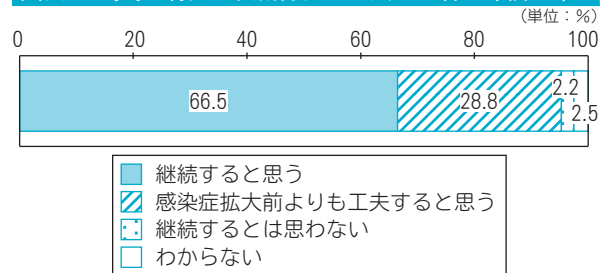
図表6：家族と過ごす時間が増加した者の今後の希望



## (4) 子育て世帯の家事・育児の役割分担

「家事・育児について、夫婦間の役割分担のやり方を工夫するようになったか」については、「感染症拡大前よりも工夫するようになった」が34.1%であった。その役割分担を工夫するようになったと回答した人に、「その工夫は、今後も継続すると思うか」については、「今後も継続する」（継続する+感染症拡大前よりも工夫する）が95.3%となっている（図表7）。

図表7：家事・育児の役割分担を工夫した者の今後の希望



## (5) 人との交流 (60歳以上)

「今回の新型コロナウイルス感染症拡大以前は、平均して1日に何人と話していたか。感染症の影響下においては、何人と話しているか」については、「3人」以上と答えた人の割合が低下し、「2人」以下と答えた人の割合が増加している（図表8）。

(奥 桂子)

図表8：人との交流の変化 (60歳以上)

